



## 愛知県における 野生鳥獣による農作物被害の状況（2024年度）

2026年3月

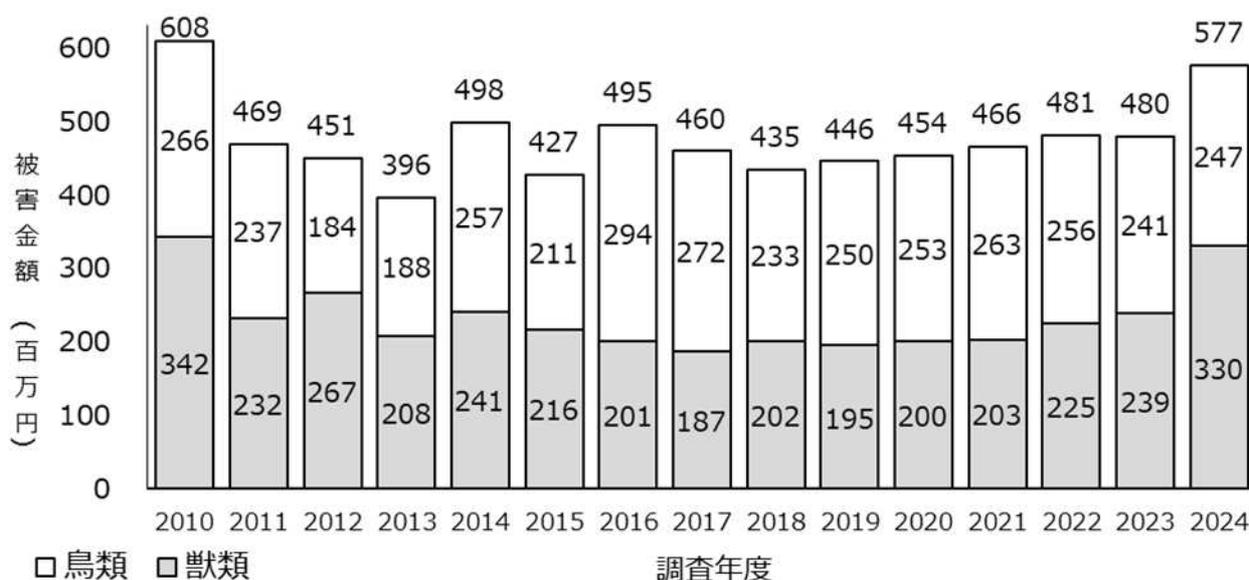
### 1 概況

#### （1）愛知県の鳥獣被害状況

指標	被害状況	前年比
被害面積	497ha	80%
被害量	3,371t	130%
被害金額	5.77億円	120%

- ・被害面積は、鳥類が前年比66%、獣類が前年比109%となりました。
- ・被害量は、鳥類が前年比96%、獣類が前年比168%となりました。
- ・被害金額は、鳥類が前年比102%、獣類が前年比138%となりました。

#### （2）被害金額の推移

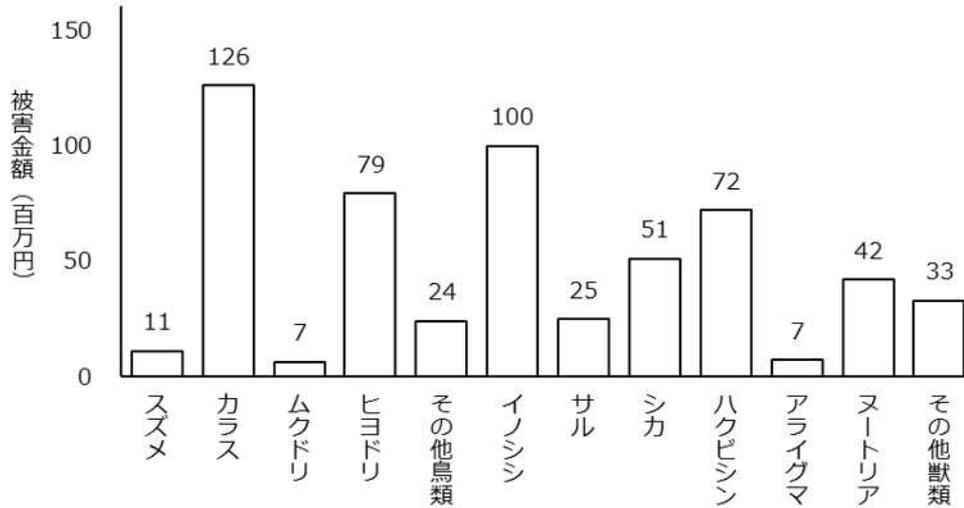


愛知県の野生鳥獣による農作物被害金額の推移

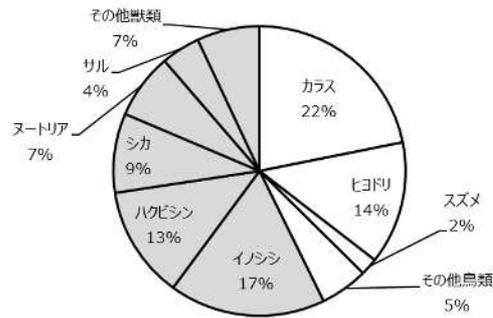
- ・愛知県における、ここ数年の被害金額は4億円から5億円程度で推移していましたが、2010年以來14年ぶりに5億円を上回りました。
- ・他県と比べると鳥類による被害金額が多く、都道府県別でも常に上位にあります(2024年度は全国第3位)。



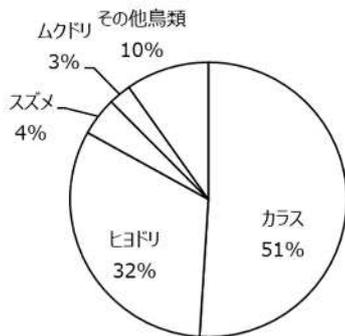
## 2 鳥獣種別の被害状況



鳥獣種別の農作物被害金額 (2024年度)



鳥獣種別農作物被害金額の比率 (2024年度)

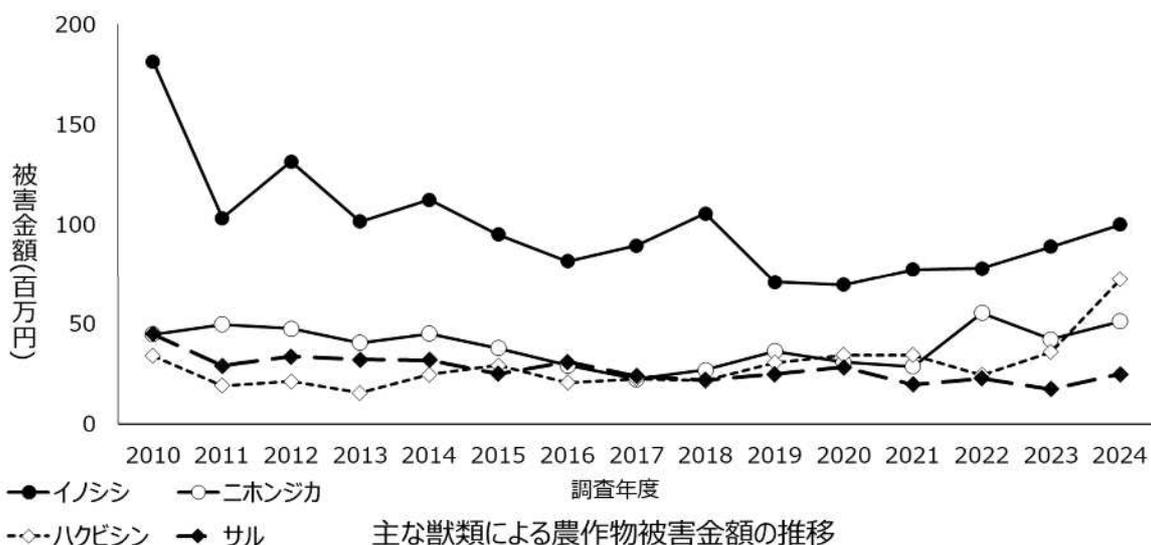


鳥類による農作物被害金額の比率 (2024年度)

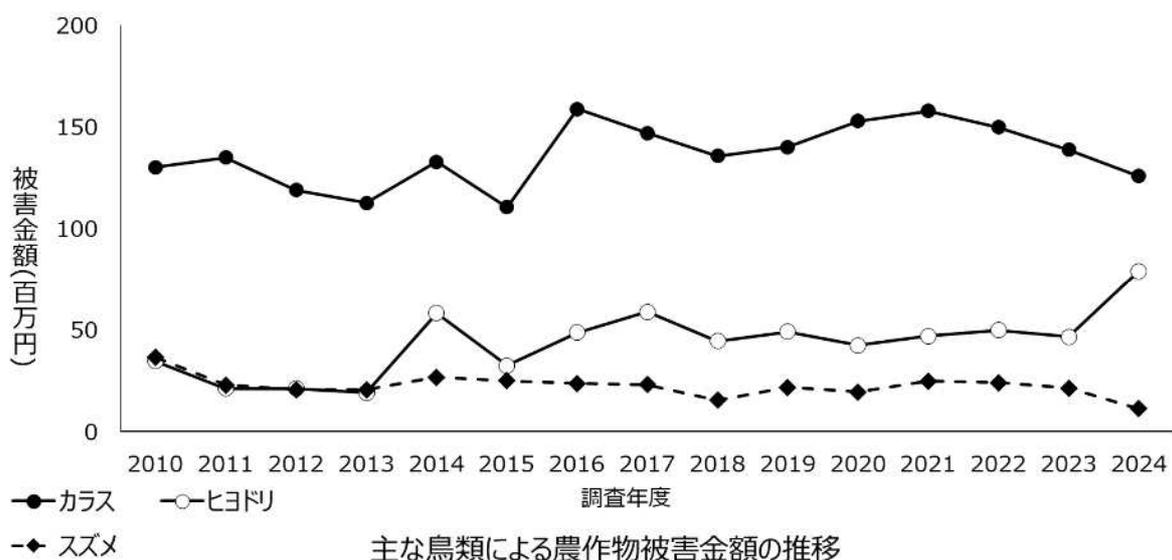


獣類による農作物被害金額の比率 (2024年度)

- ・2024 年はカラス、イノシシ、ヒヨドリ、ハクビシン、シカの順で被害が多くなりました。カラスが全被害額の 22% を占めています。イノシシが 17%、ヒヨドリが 14% です。



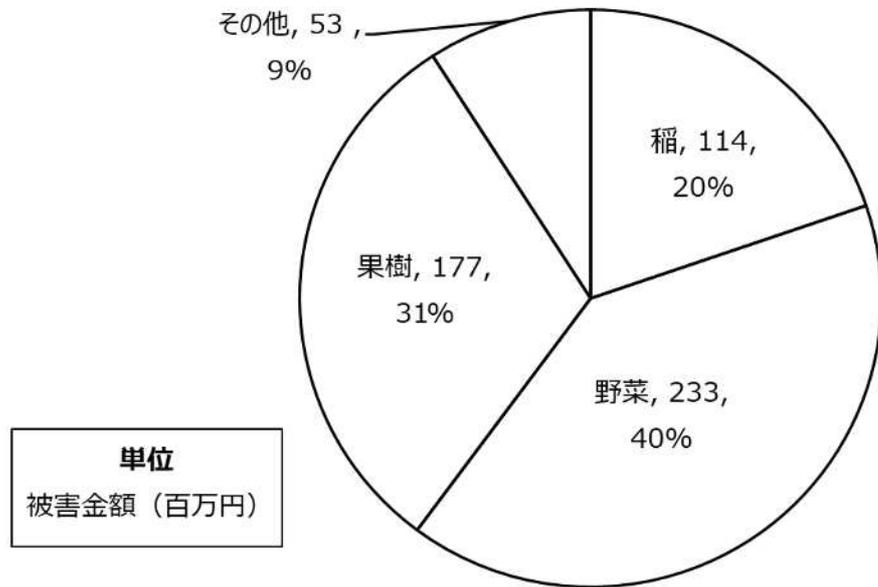
- ・イノシシによる被害額が約 1,109 万円の増（前年比 113%）になりました。豚熱の蔓延等により被害額が減少していましたが、近年は増加傾向にあります。
- ・シカによる被害額は約 895 万円の増（前年比 121%）になりました。これまで被害が多くなかった地域で、個体数増加などにより被害が増加したためであると推測されます
- ・ハクビシンによる被害額は約 3,623 万円の増（前年比 201%）になりました。東三河地域で急激に増加しましたが、その要因については調査中です。



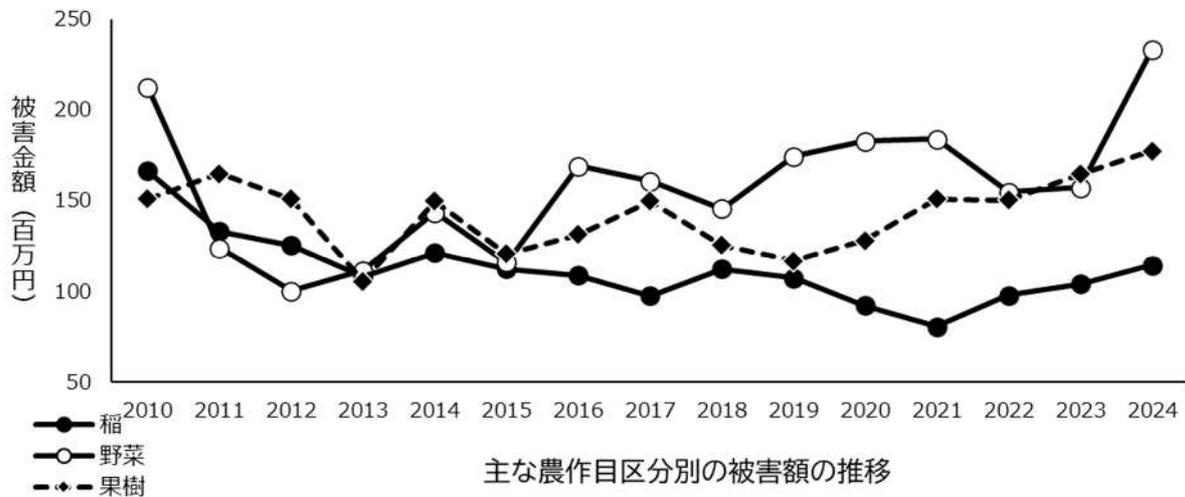
- ・ヒヨドリによる被害額が約 3,264 万円の増（前年比 170%）になりました。知多地域や東三河地域の野菜を中心に被害が拡大しました。



### 3 農作物区分別の被害状況



農作物区分別被害金額の比率 (2024年)

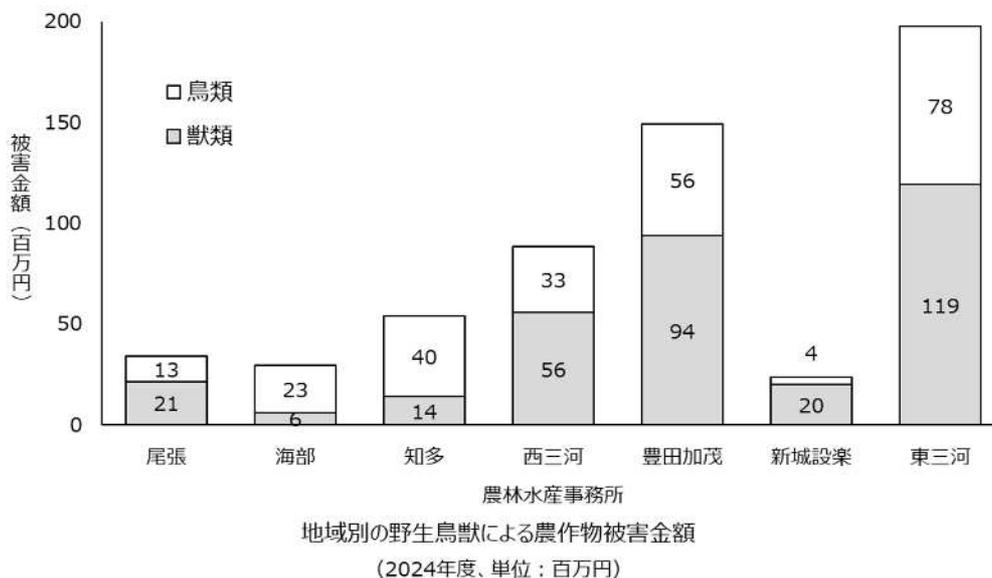


主な農作物区分別の被害額の推移

- ・農作物区分別の2024年度被害金額は、野菜が2億3,298万円(前年比148%)と最も多く、次いで果樹が1億7,716万円(前年比104%)、稲が1億1,418万円(前年比111%)となりました。
- ・東三河地域のイノシシやヒヨドリ、西三河地域のニホンジカを中心に、野菜の被害額が増加しました。



## 4 地域別の被害状況



- ・農林水産事務所管内別の2024年度被害金額は、東三河が最も多く、次いで豊田加茂、西三河の順となりました。
- ・獣害の割合が大きい地域は、尾張、西三河、豊田加茂、新城設楽、東三河で、鳥害の割合が大きい地域は海部、知多でした。

農林水産事務所管内別の加害鳥獣種上位3種とその割合(被害金額) 2024年度

	1位		2位		3位	
	鳥獣種名	割合	鳥獣種名	割合	鳥獣種名	割合
尾張	カラス	27%	イノシシ	24%	タヌキ	16%
海部	カモ	30%	カラス	30%	ヌートリア	19%
知多	カラス	32%	ヒヨドリ	25%	ハクビシン	8%
西三河	カラス	28%	サル	20%	シカ	17%
豊田加茂	イノシシ	36%	カラス	29%	シカ	13%
新城設楽	シカ	41%	サル	17%	ヒヨドリ	10%
東三河	ヒヨドリ	28%	ハクビシン	23%	ヌートリア	15%

- ・海部は他の地域よりもカモ被害が多く、県全体の85%を占めていました。
- ・西三河は他の地域よりもサル被害が多く、県全体の71%を占めていました。
- ・豊田加茂は他の地域よりもイノシシ被害が多く、県全体の54%を占めていました。
- ・東三河は他の地域よりもヒヨドリ被害が多く、県全体の70%を占めていました。